

議事録

● 会議名：第44回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2013年8月24日AM11時30分より
- 場所：岡山県総合グラウンド・桃太郎アリーナ・会議室
- 構成員：38名
- 参加者：湯村正仁、渡邊道徳、小倉 肇、藤原崇郎、木原資裕、榑 康守、福井悦郎、草間益良夫、村井慎治、石井博貞、境 英俊、竹内善一、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、田久保竜馬、坂口堅太、越智拓也、式地淳史、瓜生朋実、青木亮祐、新濱華帆、氏部崇之、小笠原優衣、山田真理子、高木春香、古川正悟、木村優介、嶋崎舜悟、井手隆介、中野沙耶（以下委任状により出席と見做す）、河内 泉、大城戸 功、山神眞一、香川直己、筒井智輝、矢野嵩晃、石底大海
以上38名、欠席者：0名

オブザーバーとして、安岡 孝、宮川 健、近藤裕樹

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。
田久保竜馬幹事長を議長として議事が進められた。

● 記録

氏名：瓜生朋実

E-mail：info@chushi.xsrv.jp（不明点はこちらへ）

● Summary：

- 議題：
1. 第43回理事会議事録確認
 2. 全日学連「理事会・常任理事会」・中四常任幹事会報告
 3. 第8回全日本学生剣道オープン大会について
 4. 平成26年度行事予定に関して
 5. 次回リーゼミ企画案
 6. 剣友会の報告

1. 第43回理事会議事録確認

第43回理事会議事録を異議なく承認した。

2. 全日学連「理事会・常任理事会」・中四常任幹事会報告

報告者：田久保竜馬、越智拓也

全日理事会・常任理事会報告

3. 平成25年度剣道有功顕彰について

安井代表理事より毎年全剣連より依頼されている剣道有功賞顕彰について、各地域連盟からの推薦要請があった。対象者は75歳前後とし、八段所有者は除く。

締め切りは8月末日まで。立石学生代表理事に推薦書を郵送する。推薦書は、集計の上、鳥居会長の承認を経て全剣連へ提出する。

4. 各専門委員会からの報告・審議

<総務委員会>

2) 暴力根絶への各連盟の対応について

平成25年2月5日に下村博文文部科学大臣より「スポーツ指導における暴力根絶へ向けて」が発信された後、日本体育協会、全日本剣道連盟を経て、全日本学生剣道連盟へ「スポーツ指導者における暴力根絶への対応について」が通達された。これを受けて、当連盟は各地域加盟大学の指導者の方々へ周知徹底すべく、各地域連盟へ「スポーツ指導者における暴力根絶への対応について」を通知した。以後、各地域連盟で以下のような対応がなされた。

北海道・・・資料を各大学主務宛に郵送し、所属大学の部員宛に通達するように要請した。

東北・・・資料を各大学監督宛に郵送し、選手権大会において毛利会長より開会式で通達した。

北信越・・・各大学がどのように対応したかをアンケート調査し、選手権大会開会式にて会長からの言葉として通達した。

関東・・・師範、部長、監督、助監督、コーチ、全卒業生幹事、登録審判員及び全登録部員に通達した。

東海・・・各大学に資料を郵送後、選手権大会にて通達した。

関西・・・監督相互研修会を開催し、アンケートをとり、欠席した大学へはその会議時に使用した資料を郵送し、連盟全体で情報の共有を行った。

中四国・・・リーダーセミナー及び選手権代表者会議で情報の伝達を行った。

九州・・・大会前日の代表者会議にて資料を配布し、通達した。

上記の対応を踏まえて、今後、全日本学生剣道連盟としてどのような措置を行うべきか協議された。

暴力事件に関する各大学への実態調査はその客観性や有効性等の問題に鑑み、今回は行わないこととする。今後については暴力という問題に限定せず、ハラスメント問題も含めて、不祥事の発生を防ぐために剣道理念に則った正しい指導法を周知徹底すべく、各地域連盟において努力していくことを推進する。

また、地域連盟の活動等を年に一度集計し理事会等に報告し今後の指導に生かしていくこととする。さらに、万一不祥事等が起こった場合、当該大学からの全日本学生剣道連盟への報告義務や事後の対応等について、26年2月の提案を目途に本委員会で検討していくこととした。

<事業委員会>

1) 優勝大会の出場枠について

現在のところ、男女ともに問題はないため2、3年を目処に検討することが報告された。

2) オープン大会について

中四国連盟越智学生事業委員より配布資料に基づき本年度オープン大会の詳細について報告があった。大会出場者の募集は各地域連盟を通して中四国連盟へ報告し、参加者が必要最低限に満たない場合は緊急要請を行う。事業委員会としては中四国に近い関西連盟、九州連盟からは150名程の参加を期待している。

北信越連盟山本学生事業委員会より次回オープン大会が平成26年12月20日、21日に長野市まじまスポーツアリーナにおいて開催すること（が予定されているが、第8回以降毎年開催するかどうかは確定していな

いが準備を進められている)を事業委員会で検討している旨が報告された。

なお、登録締め切りは10月末。各地域連盟への協力の要請があった。

<財務委員会>

1) 平成25年度全日本学生剣道連盟春期部員登録の報告について

合計部員登録数が10,945人であることが報告された。

2) 平成24年度全日本学生剣道連盟設立60周年記念事業決算報告について

高山学生財務委員長より資料に基づき、60周年記録誌に関して、全日本学生剣道連盟より各地域連盟への記録誌の郵送は完了しているが、所属大学には届いていない現状がある、との報告がなされた。

次いで、60周年記念事業が全て滞りなく終了したことが報告された。なお、残額417,602円は一般会計に振り込まれていることが井出財務委員長より補足された。

3) 平成25年度第8回全日本学生剣道オープン大会予算書(案)について

田久保学生財務委員より資料に基づき、報告がなされた。なお、参加人数は730名を予定しており、大会参加者を募る為、地域予選大会パンフレット等に広告を掲載するなどの措置をとる。

<審判委員会>

1) 有効打突について

試合内容の改善の為に礼儀、マナーの徹底等の意見が出され、本案件については引き続き審議していくことが報告された。また、濱口卒業生審判委員より女子の試合は例年6割が延長戦となっている為試合時間を延長することが審判委員会で検討されていることが補足された。

2) 全日各種大会における規格外竹刀の扱いについて

現在までは竹刀検査の際に規格外竹刀は没収という形をとっていたが、笹グレ、隙間のある竹刀については検査対象とせず返却を行うこととなった。そのためオープン大会でも同じように竹刀検査を行うこととなった。

3) 剣道審判講習会資料の充実化について

審判委員会にて、大会の活性化の為に監督会議資料と審判会議資料を各地域連盟へ配布し、全日本選手権、優勝大会はそれに準じて行うこと及び各地方大会はそれらを参考として行うことを確認した旨が報告された。また、審判講習会の充実を図る為に質問・回答事項を新たに加えることが提案され、全員の承認を得たことが報告された。

4) 審判員の割り振り及び選考方法について

現在審判員は9人で1つのコートに割り振られており、遠方からの出席にも関わらず数試合で審判を終える人が生じている。これに関し、選手権大会及び男子優勝大会の各試合場の審判員数の削減を検討し、11月の審判委員会で結論を出すこととしたい。

なお、試合をする選手又はチームが審判員の出身校及び指導校でない場合に限り、同じ地域連盟の審判員が審判を行うことができることが確認されたとの報告があった。

中四常任幹事会報告

(1) 選手権大会の試合形式について

- ・前回の常任幹事会において、選手権大会の試合形式は、男女とも1回戦を10試合場で行い、その後8試合場に戻し試合を進行していくことに変更したい旨決定した。その際審判員は、従来通りの8試合場分の審判員で行い、不足する2試合場分の審判員は各試合場から補うことになった。10試合場から8試合場に戻る際には、試合場を作り直すのではなく、第1試合場と第10試合場を使用しなくすることになった。

3. 第8回全日本学生剣道オープン大会について

報告者：越智拓也

(1) 現在参加人数、準備状況について

8月22日現在、中四国学生剣道連盟の大会参加申込数は362人を超えていることが報告された。中四国内の目標人数を300人としていたため目標は達成できた。また他域連盟の申込締め切りは9月30日としているため、10月上旬には全参加人数の把握ができる予定である。それをもとに大会準備を進めていく。

(2) 審判員各県割り振りについて

福井先輩から審判員状況が報告された。

- ・広島県内の中体連、高体連の先輩方で現在25名の審判員を確保。さらに増やしたい。
- ・県警、法曹関係の先輩方で40名を考えている。
- ・足りない審判員は、広島県以外の中四国の先輩方、全日の先輩方をお願いする。また五段の先輩方も考慮する。
- ・審判員を10人体制（主任を含め）ではなく8人体制で行うことも検討されたが、全日が10人体制で行っているためその体制に合わせて、10人体制で行うことが確認された。そのため10試合場で100名の審判員が必要となる。

4. 平成26年度行事予定に関して

報告者：石井博貞、田久保竜馬

- ・選手権大会は、愛媛県立武道館で5月18日の開催を計画。
- ・優勝大会は、岡山市総合文化体育館で8月31日の開催を計画。
- ・新人戦は、広島県立総合体育館武道場で12月の第2週の開催を計画。

5. 次回リーゼミ企画案

報告者：矢野 崇晃

- ・3月8日から10日の日程で、国立江田島自然の家で開催予定。
- ・参加者は、各大学次期主将と主務を予定。参加者は100名程度になる予定。
- ・詳細は未定で、決定次第報告する。

6. 剣友会の報告

報告者：宮川 健

(1) 全日本学連剣道連盟の理事会報告

- ・北信越と関西、中四国、九州の理事の交代が行われた。
- ・第6回全日本学連剣友大会が無事に行われた。安全対策として一般外科に加え、脳神経外科病院なども確保され、東京消防庁レスキュー隊も配置されていた。

以上の議事を終え、本会は午後12時10分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成25年8月24日

中四国学生剣道連盟 第44回理事会

署名人 村井慎治

署名人 瓜生朋実



次回 MTG

日時：2013年10月12日

場所：広島県立総合体育館・地下1階・中会議室